

平成 25 年度 広島大学留学生の学習と生活に対する支援調査結果概要報告

中矢礼美

はじめに

本報告は、平成 25 年 12 月に実施した本学の留学生対象のアンケート調査「広島大学留学生の学習と生活に対する支援調査」の結果を集約・分析したものである。

広島大学には 1000 人以上の留学生が在籍しており、彼らが直面する生活・修学上の多様な課題を解決すべく、留学生支援ネットワークは毎月連絡会議を開催し、また各セメスターに一度は全学の留学生支援担当者会議を開催して、情報共有および支援体制の構築に努めている。そこで議論される内容は多岐にわたり、効果的効率的な留学生支援のためには状況把握が重要であるという共通認識のもと、昨年度に引き続き今年度も留学生に対する支援調査を実施することとなった。

本調査の内容および構成は、留学生支援ネットワークのメンバーによって作成され、調査票は国際センター国際交流グループより全留学生に配布された。

平成 25 年度の留学生支援ネットワークメンバーは以下のとおりである。

中矢 礼美	国際センター国際教育部門	准教授
横山 美栄子	ハラスメント相談室	教授
北仲 千里	ハラスメント相談室	准教授
岡本 百合	保健管理センター	准教授
小島 奈々恵	保健管理センター	研究員
田中 孝憲	キャリアセンター	主査
車地 友理	キャリアセンター	
梅下 健一郎	国際センター国際交流部門	専門員
宮 秀貴	国際センター国際交流部門	主査
小倉 亜紗美	国際センター国際交流部門	研究員

I. アンケートの調査方法と内容

アンケート調査票は広島大学に在籍する全留学生 1,111 人を対象とし、所属部局より直接あるいは指導教員を経由して配布した。回答は、学内便にて回収を行い、回収数は 567

であった。回収率は51.0%と2003年以降の調査の中で最も高い比率となった。アンケート調査紙は日本語と英語を併記した。アンケートは昨年とほぼ同じ項目を用いている。内容は5つに分かれており、1) 一般的な質問、2) コミュニケーション言語および学習について、3) 指導教員との関係について、4) 留学生支援について、5) 留学生による生活・修学に対する満足度について、である。

回答は、複数選択式、5点法のリカートスケール方式など、選択式を採用した。ただし、より具体的な意見を汲み取るために自由記述欄も設けた。

回答者は、質問によって異なっていること、一部の質問に回答していないなどの無効回答などもあるために、質問によって全回答者数に違いがある。

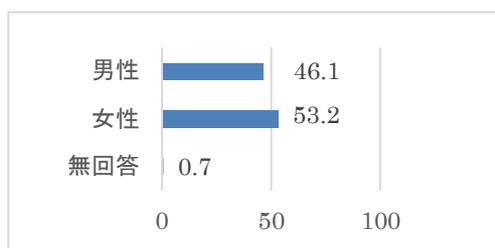
II. 統計分析の方法について

データはすべて統計的に処理されており、ここに掲載した検定結果は分散分析の結果である。多くの場合を理系と文系の研究科に所属する学生の間での違いとして分析を行っている。なお、ここでは留学生の自己判断により理系文系を区分している。

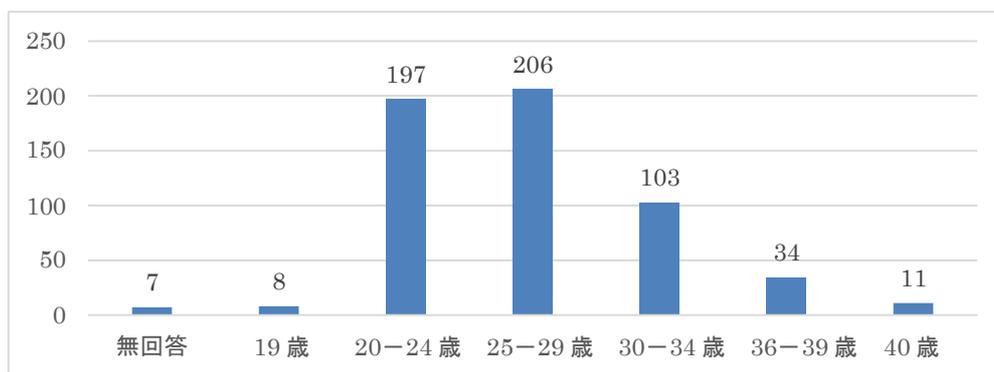
III. アンケート調査結果の分析 1. 一般的な質問

問

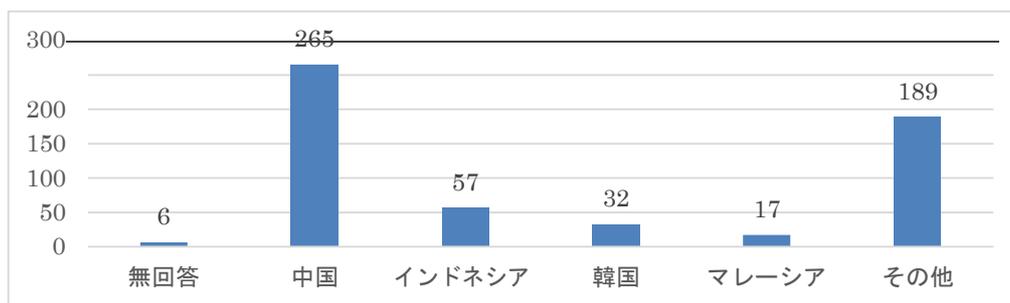
1.1 性別 (有効回答 566) (%)



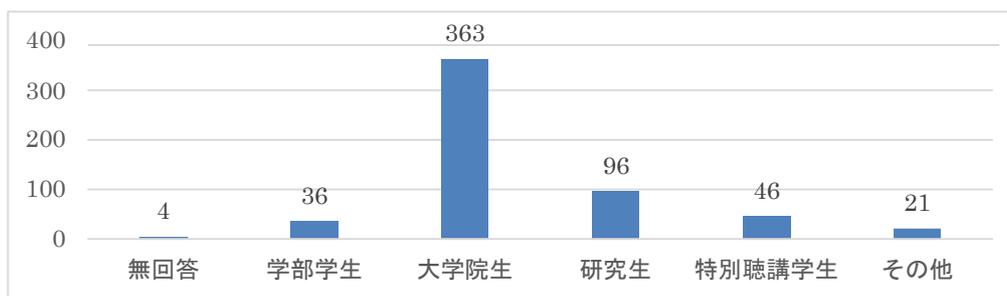
1.2 年齢 (有効回答 566) (人)



1.3 出身国・地域 (有効回答 566) (人)



1.4 学籍 (有効回答 566) (人)



1.5 所属 (有効回答 566)

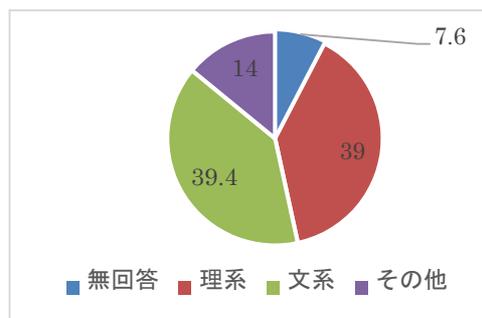
所属	回答者数	在籍者数	回答率
総合科学部	2	6	33.3
文学部	5	10	50.0
教育学部	37	38	97.3
法学部	3	5	60.0
経済学部	2	6	33.3
理学部	5	8	62.5
歯学部	6	16	37.5
薬学部	0	1	0.0
工学部	21	36	58.3
総合科学研究科	44	117	37.6
文学研究科	49	99	49.4
教育学研究科	46	140	32.8
社会科学研究科	50	103	48.5
理学研究科	13	27	48.1
先端物質科学研究科	6	24	25.0

保健学研究科・医歯薬学総合研究科	37	71	52.1
工学研究科	73	141	51.7
生物圏科学研究科	19	44	43.1
国際協力研究科	117	184	63.5
国際センター	25	33	75.5
高等教育研究開発センター	1	1	100.0
合計	561	1110	
システム欠損値	5		
全体	566	1110	51.0

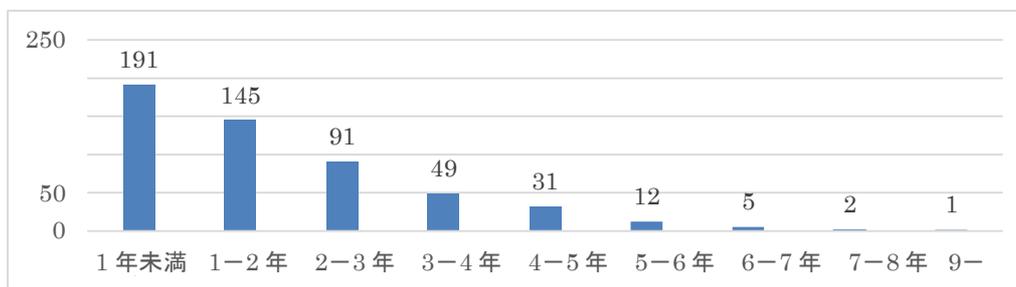
1.6 私費・国費 （有効回答 566）



1.7 専門 （有効回答 566）

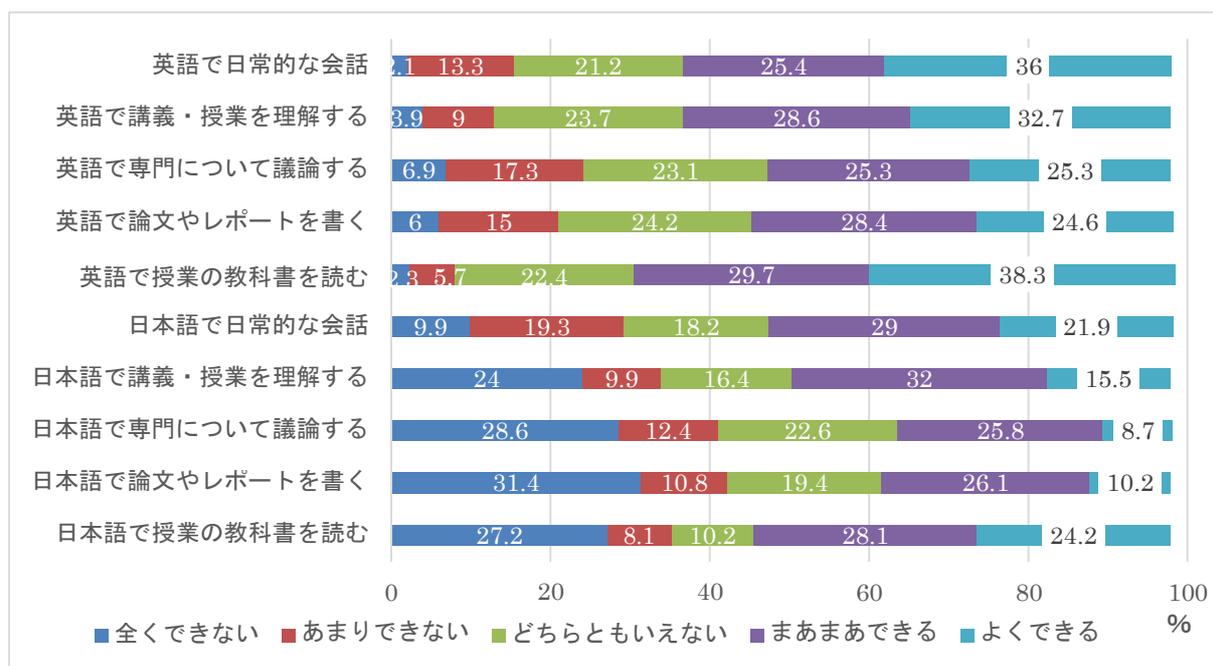


1.8 広島大学での在籍年数 （有効回答 566）



2. コミュニケーション言語と学習について

2.1 あなたの日本語と英語の能力はどのくらいですか？



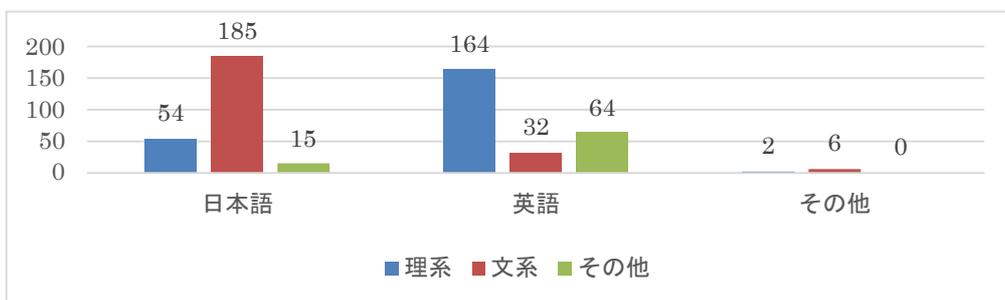
分散分析の結果、すべての項目において理系・文系による有意な差（1%水準）が見られた。理系の学生に比べて文科系の学生はすべての側面において高い日本語能力を持ち、文系の学生に比べて理系の学生がすべての側面において高い英語能力を持つという結果が得られた。

<理系・文系別の語学力>

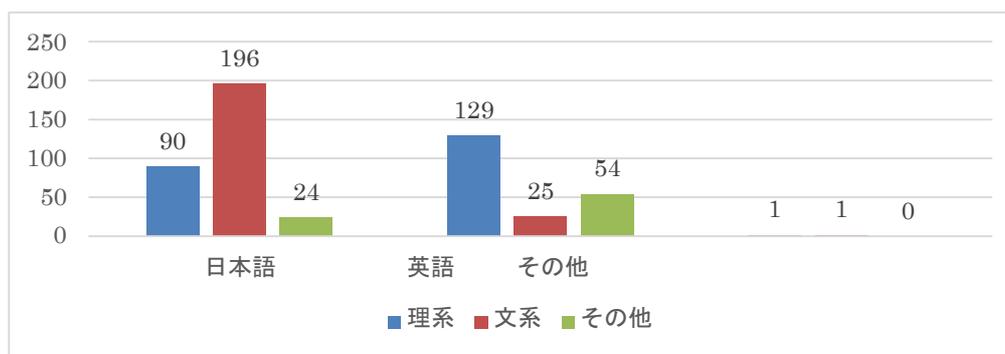
		n	mean	s			n	mean	s
日本語で授業の教科書を読む	理系	218	2.63	1.561	英語で授業の教科書を読む	理系	220	4.24	0.892
	文系	221	4.09	1.092		文系	220	3.51	1.04
	その他	77	2.25	1.434		その他	79	4.43	0.812
	合計	516	3.2	1.566		合計	519	3.96	1.022
日本語で論文やレポートを書く	理系	217	2.22	1.37	英語で論文やレポートを書く	理系	219	3.84	1.077
	文系	222	3.62	1.064		文系	220	2.9	1.078
	その他	78	1.87	1.132		その他	79	4.18	0.944
	合計	517	2.77	1.422		合計	518	3.49	1.18
日本語で専門について議論する	理系	218	2.35	1.326	英語で専門について議論する	理系	219	3.79	1.162
	文系	221	3.48	1.077		文系	218	2.83	1.12
	その他	78	1.92	1.182		その他	79	4.09	0.99

	合計	517	2.77	1.358		合計	516	3.43	1.233
日本語で講義・授業を理解する	理系	217	2.57	1.393	英語で講義・授業を理解する	理系	219	4.05	1.003
	文系	221	3.9	1.051		文系	218	3.27	1.079
	その他	78	2.29	1.32		その他	79	4.32	0.899
	合計	516	3.1	1.428		合計	516	3.76	1.108
日本語で日常的な会話	理系	218	2.94	1.278	英語で日常的な会話	理系	219	4.06	1.111
	文系	222	4.03	1.017		文系	219	3.33	1.05
	その他	78	2.73	1.234		その他	79	4.28	0.919
	合計	518	3.38	1.297		合計	517	3.79	1.129

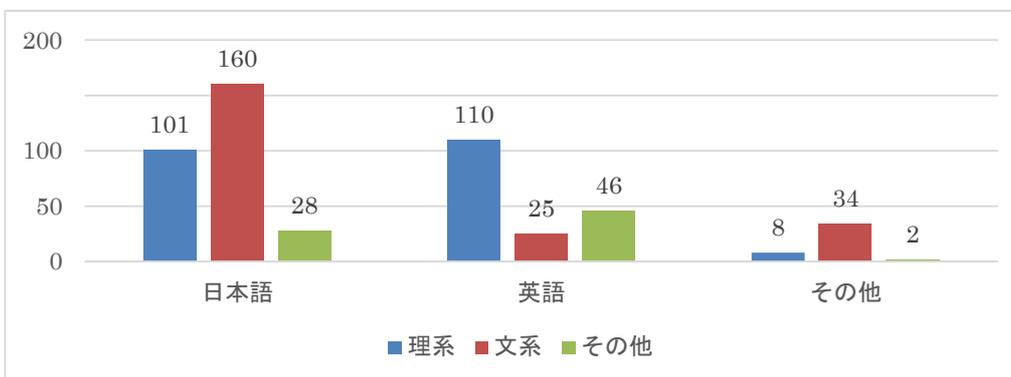
2.3 あなたは、論文の読み書きでおもにどの言語を使いますか？（回答数 522）



2.4 あなたは、指導教員との会話でおもにどの言語を使いますか？（回答数 520）

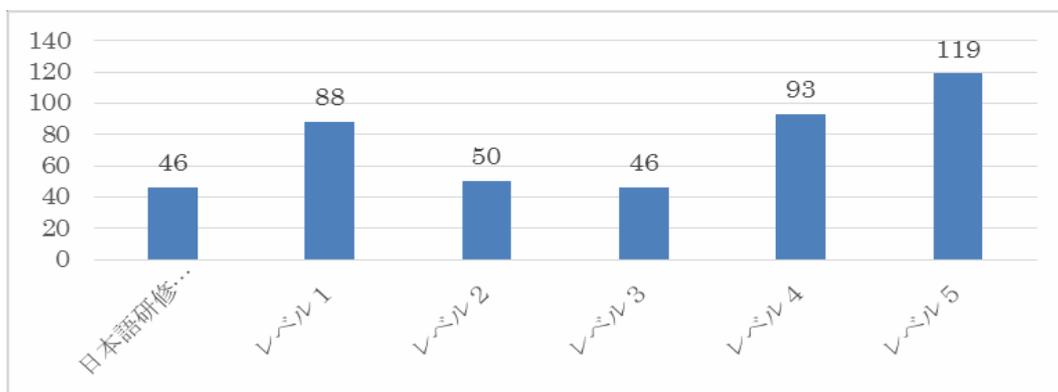


2.5 あなたは、研究室の人たちとの会話でおもにどの言語を使いますか？（回答数 514）

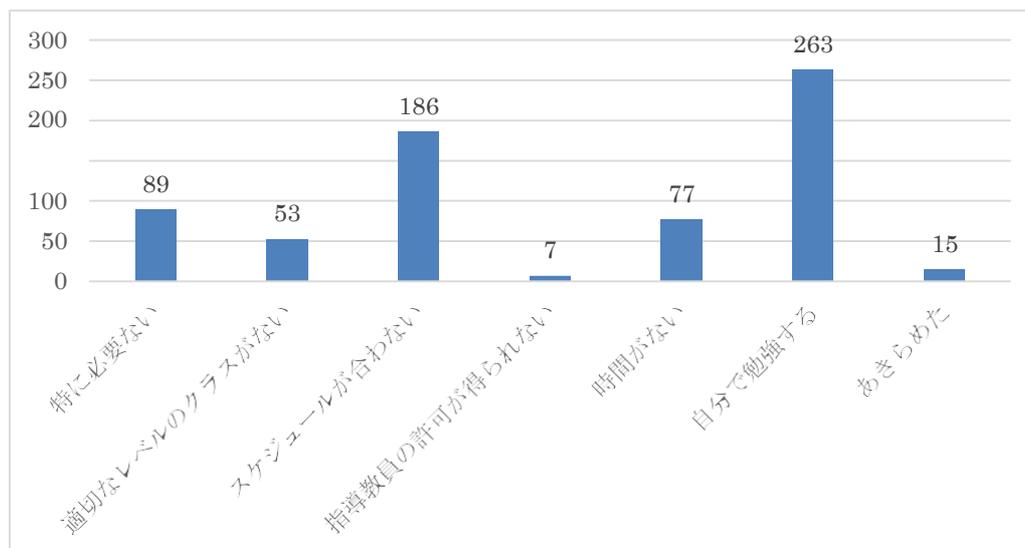


2.3～2.5に示したように、理系の学生の方は文系の学生よりも論文の読み書きは圧倒的に英語を使っているが、指導教員との会話では日本語を使う割合が多くなっている。また、研究室の人との会話ではさらに日本語を使う人が多いことが分かる。「研究室の人との会話」において「その他」の言語と回答しているケースが多いのは、同国出身者との会話によると考えられる。

2.6 あなたが広島大学で今まで参加した国際センターの日本語コースを教えてください。(複数回答)



2.7 あなたの日本語の勉強についてどの意見があてはまりますか？(複数回答) (人)

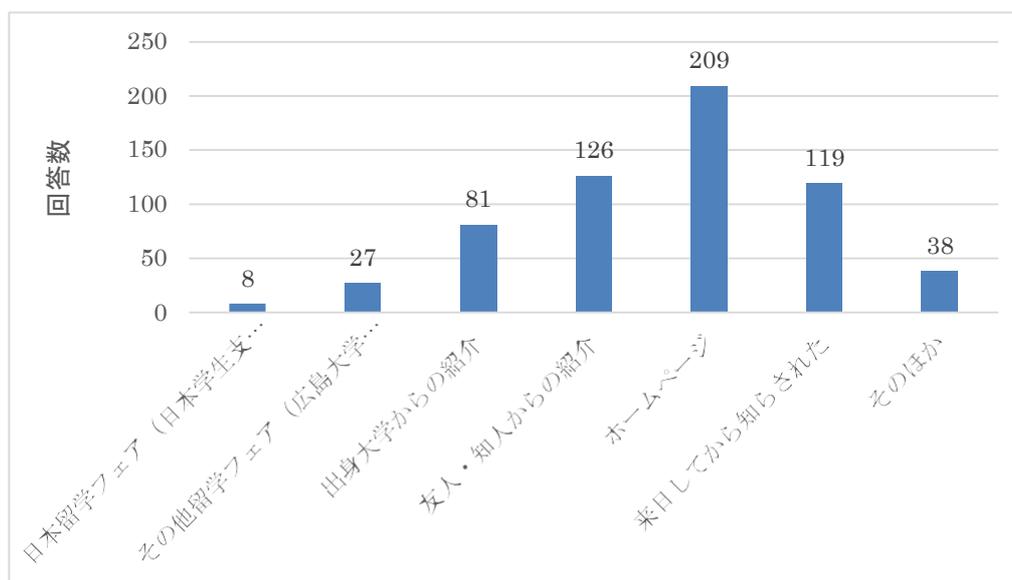


「スケジュールが合わない」学生が186名、必要性を感じながらも「時間がない」学生が77名存在する。「自分で勉強する」と回答した263名の中にこの人数が含まれている。日本語能力が低いにも関わらず、研究室や指導教員との会話は日本語を使用していたり、生活のための必要性からも、日本語・日本文化学習機会の保障がますます重要となる。国際

センター国際教育部門では、独自開発のプレイメントテストを学期始めに受験させ、そのレベル（1—5）に合わせて日本語・日本文化の授業を受講できるようにしているが、受講者の年間スケジュールや弱点に合わせて、柔軟に短期で文字の学習クラスを開講するなどの試みが行われている。日本語学習を許可しない教員も7名存在しており、研究室でも留学生の状況に合わせて柔軟な対応が求められる。

3. あなたと指導教員との関係について

3.1 あなたは、指導教員のことをどのようにして知りましたか。（複数回答）



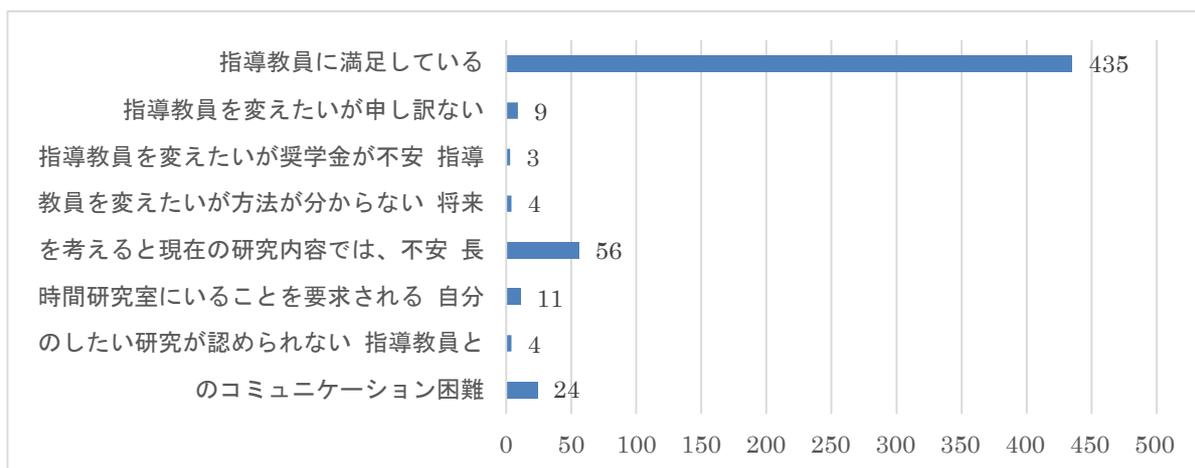
3.2 あなたは来日前に指導教員とどのような相談をしましたか？（複数回答）（人）

	指導教員未決定で 相談なし	書類送付のみで 相談なし	研究計画複数回 相談	研究活動複数回 相談
大学院生	57	83	185	64
研究生	9	17	48	18
特別聴講学生	8	9	4	1
その他	3	2	4	0
全体	94	111	242	85

依然として、「指導教員が決まっていなかったので、相談していない」という回答は、事前相談のない全体で94名、「受け入れ願いと書類を送った後は、何も相談していない」という回答も111名と非常に多い。事前相談の必要がない学部生は含んでいない。研究室および指導教員とのミスマッチは、留学生にとって最も大きな問題であり、予防のためには事前の相談が不可欠である。受け入れ願いと研究計画書などの提出を受け入れ

られた時点で留学生は、指導教員が全面的に自分の研究計画を受け入れてくれていると思う一方で、指導教員側は、「来てからの話し」と考えていることもある。相互不理解が入学時から始まっている可能性が高い。受け入れ前の複数回の相談（確認）を実施すべきである。

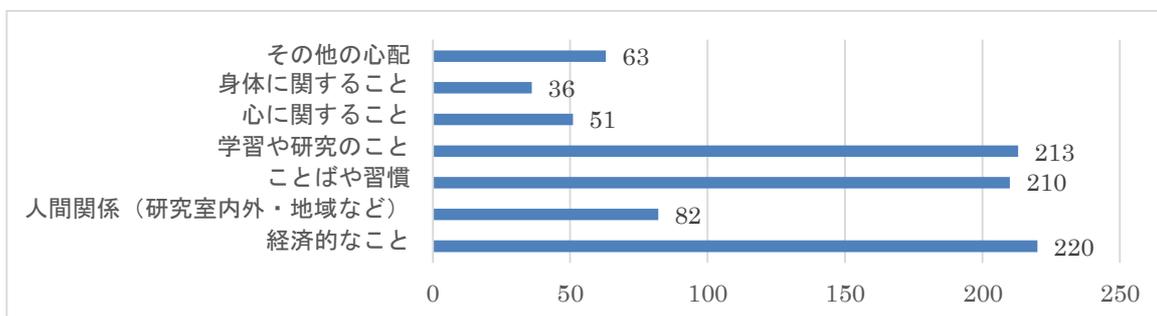
3.3 指導教員との関係において、次のうちどれがあなたにあてはまりますか？（複数回答） （人）



概ね指導教員に満足しているようであるが、「将来を考えると現在の研究内容では、不安」という回答者が56人と多い。指導教員を変えたいものの「申し訳ない」「奨学金が不安」「方法が分からない」という留学生も存在している。自由記述で述べられているように、深刻な問題である場合もあり、各相談窓口での対応が求められる。

IV. 学生支援について

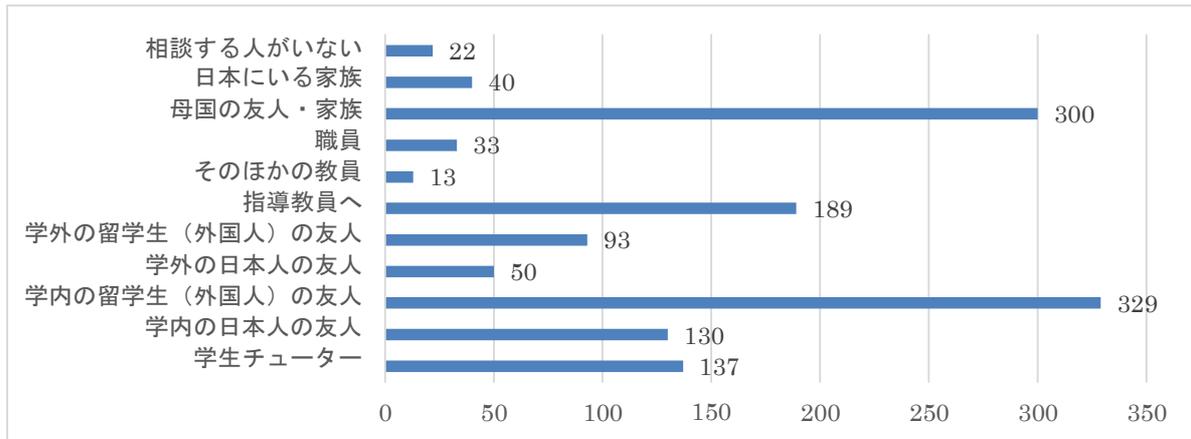
4.1 学生生活の中で困っていることがありますか。（複数回答可） （人）



「経済的な悩み」が220人と非常に多く、ついで「学習や研究のこと」213人、「ことばや習慣」の悩みが210人と非常に多い。

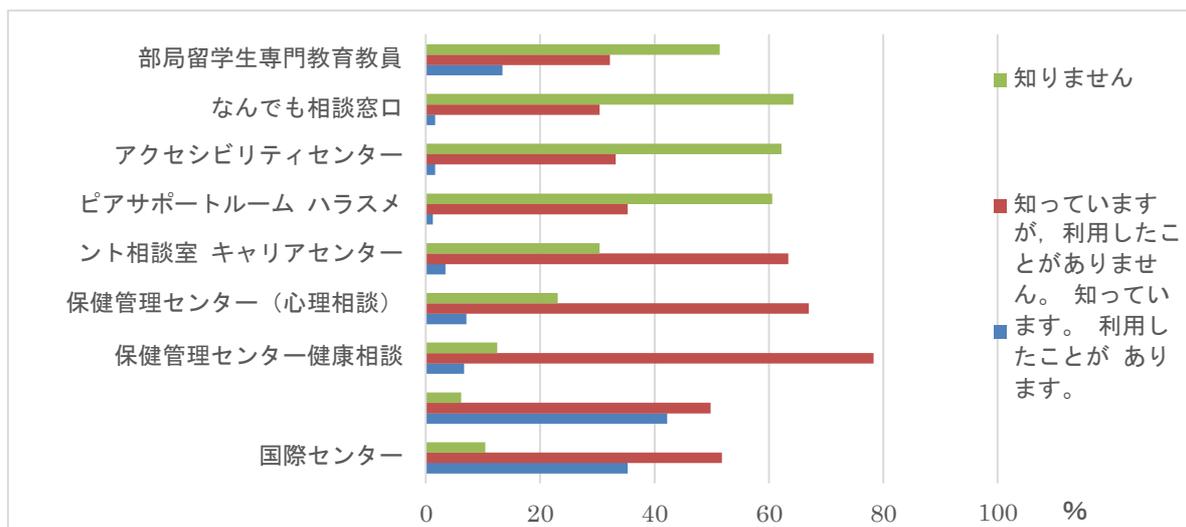
4.2 困ったことがあるときには、おもに誰に相談しますか。(複数回答)

(人)



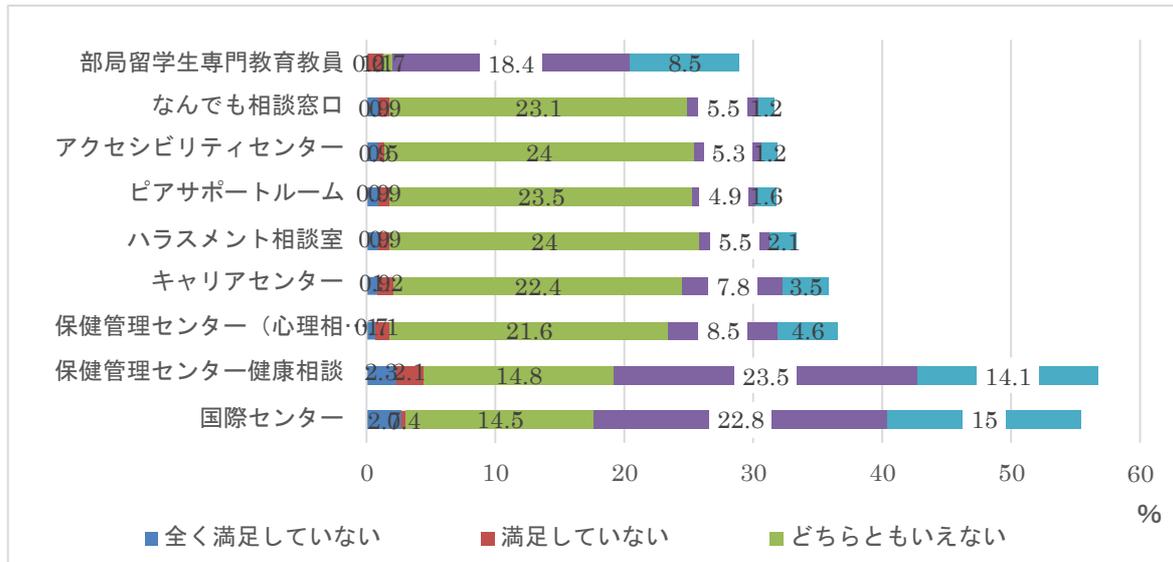
「相談する人がいない」と回答する留学生が 22 人存在することは、問題である。悩みの相談相手は母国の友人・家族、学内の留学生およびが非常に多い。ついで指導教員も 193 人と多い。日本人学生の友人よりも学生チューターと回答する留学生も 137 人と多く、その重要性が理解できる。

4.3 学生生活支援のための次の相談窓口があることを知っていますか？ 相談したことがありますか？

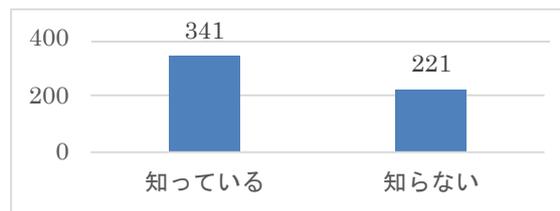


ピアサポートルーム、アクセシビリティセンター、なんでも相談窓口の認知度は非常に低い。部局留学生専門教育教員についても、認知度が低い、配置されていない部局があることも影響している。有意義な留学生生活、問題の予防や早期解決のためには、留学生支援窓口の周知徹底を図る必要がある。

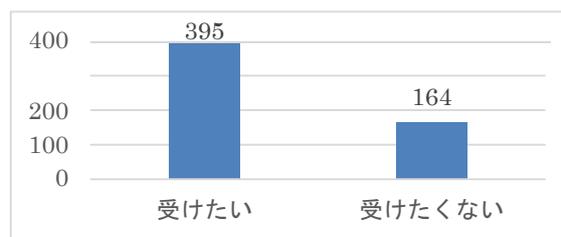
4.4 下記の窓口を利用したことがある方にお尋ねします。下記の窓口での支援に満足しましたか？



4.5 保健管理センターで、留学生のためのカウンセリング（英語と日本語で対応）を行っていることを知っていますか。 (人)

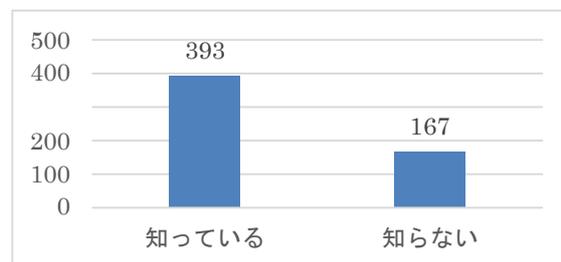


4.6 悩みごとがあったとき、カウンセリングを受けようと思いますか。(人)

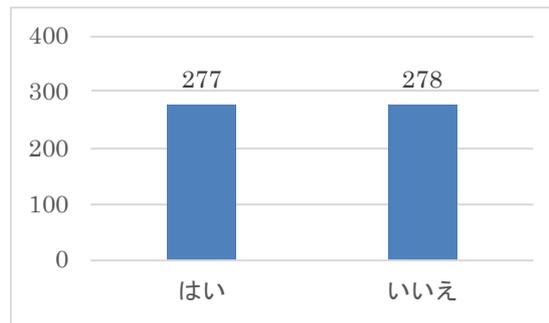


(4.7は、自由記述のため省略)

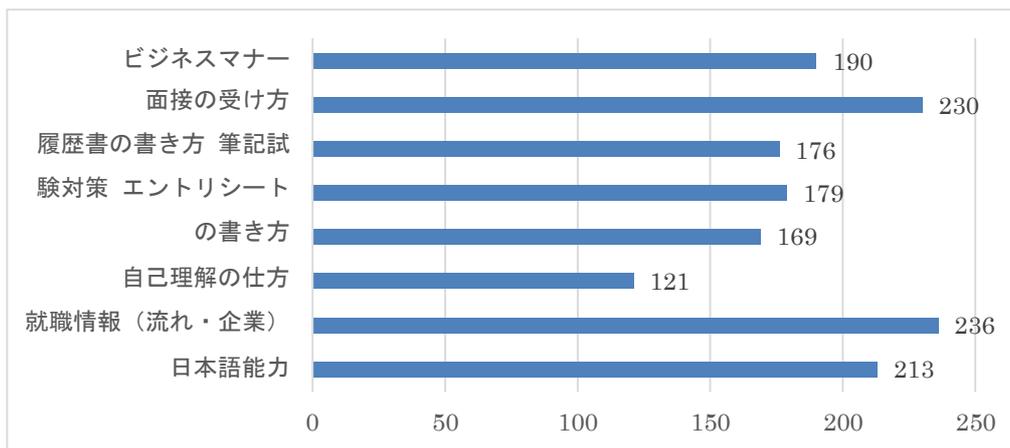
4.8 学年度内（4月～3月）に健康診断を受けていなければ、健康診断証明書が発行されないことを知っていますか。 (人)



4.9 あなたは日本の企業への就職を希望していますか。 (人)

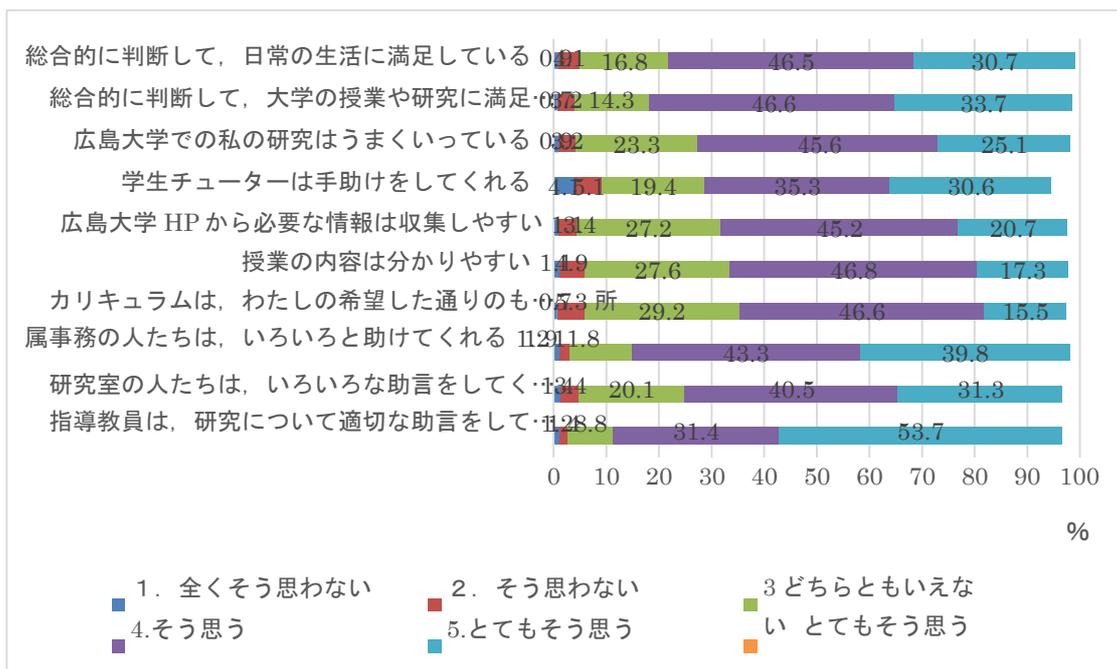


4.10 「はい」と回答した方は、職活動のサポートに必要なことは何ですか。(複数回答)



5・広島大学における学習・生活に関する満足度

広島大学に関する以下の内容について、あてはまる回答の数字に○をしてください。



満足度について「全くそう思う」(1点)から「とてもそう思う」(5点)で平均値を求めたところ、下記のように指導教員については最も満足が高く、カリキュラムと授業の満足度は低めである。

<自由記述>

主な内容を以下にまとめる。

- ・奨学金や授業料免除が少ない不満、合否基準の不透明さについて
- ・24時間利用可能な研究室
- ・実験器具の取扱説明書が日本語のみ
- ・IDEC前の道の危なさ
- ・東千田キャンパスの施設の不十分さ
- ・国際的なカリキュラム、英語での授業や指導の必要性
- ・学生への指導不足、過度なプレッシャー、教員の手伝いのために自分の勉強時間不足
- ・HP上の情報がバラバラ
- ・事務からのメールは日本語
- ・チューターは必要
- ・英語ができないチューターは困る

留学生満足度の平均値経年比較

	2009	2010	2012	2013
指導教員は、研究について適切な助言をしてくれる	4.47	4.39	4.46	4.4
研究室の人たちは、いろいろな助言をしてくれる	4.1	3.98	4.07	4
所属事務の人たちは、いろいろと助けてくれる	4.2	4.19	4.27	4.21
カリキュラムは、わたしの希望した通りのものである	3.9	3.69	3.8	3.73
授業の内容は分かりやすい	3.71	3.61	3.66	3.76
広島大学HPから必要な情報は収集しやすい	3.82	3.79	3.82	3.83
学生チューターは手助けをしてくれる	3.93	3.79	3.86	3.88
広島大学での私の研究はうまくいっている	3.94	3.88	3.91	3.93
総合的に判断して、大学の授業や研究に満足している	4.13	4	4.13	4.11
総合的に判断して、日常生活に満足している	3.93	3.86	4.02	4.03